

フィクションと現実のキャラクター分析

—— 望ましい自己像をめぐる ——

古 賀 豊

1 本論文の位置付けについて

本論文は、「理想的な人物像」をめぐる試論：フィクションのキャラクターと現実の自己像」と題した論文（古賀豊 2019。以下、2019 年論文と記す）で用いた手法を洗練させ、その分析結果を再検討するものである。そのため、本論文の主要な手法は、2019 年論文とほぼ共通したものが多くことから、それについての細かな説明は省略する。

なお、目的についても、2019 年論文と共通しているが、あえて、ここに記しておきたい。本論文の目的は、現代の若者の望ましい自己像の細部（構成要素）が、どのようなものであるのかを解明することにある。それを、自分の身近な家族（親）を想定した場合の望ましい人物像、および、フィクション（物語）のキャラクターを想定した場合の望ましい人物像を合わせて設問することにより、分析を進めていく。

2 分析手法および調査の概要

前述の通り、本論文で用いる主要な分析手法は、2019 年論文と同じくコンジョイント分析である。（コンジョイント分析については、2019 年論文の第 2 章を参照のこと。）

そのため、以下では、2019 年論文と差異がある点を重点的に説明する。

2-1 キャラクター（人物像）を構成する属性（因子）とその内容（水準）

調査で用いる人物像（プロフィール）を作成するにあたり、本論文では、L18

直交表(3水準の因子×6, 6水準の因子×1)を採用した。具体的には、「職業」, 「経済状態」, 「友人関係」, 「性格」, 「容姿」, 「個人能力」, 「知名度」の7つの属性(因子)を設定し、「職業」属性(因子)には6つの水準を、それ以外の因子には3つの水準を設定した。その詳細は、次の通りである。(以降、本論文で水準名を示す際には、右端の短縮形を用いることにする。)

職業

1. 職業は会社員 [会社員]
2. 自宅に籠る生活 [自宅に籠る]
3. 職業は芸術家(作家やミュージシャンを含む) [芸術家]
4. 職業は実業家・経営者 [実業家]
5. 職業はスポーツ選手・芸能人 [有名人]
6. 職業は(自称)旅人 [旅人]

経済状態

1. 経済的にはお金持ち [金持ち]
2. 経済的には人並み [人並みの経済力]
3. 経済的には貧しい [貧しい]

友人関係

1. リアルな友人に恵まれている [リアルの友人多]
2. ネット上の友人に恵まれている [ネット上の友人多]
3. 孤独を好む [孤独好む]

性格

1. 活発で賑やかな性格 [活発で賑やか]
2. 穏やかで物静かな性格 [穏やかで物静か]
3. 頑固で他人に左右されない性格 [頑固でぶれない]

容姿

1. 容姿は美形・ハンサム [美形な容姿]
2. 容姿は平凡 [平凡な容姿]
3. 容姿は個性的 [個性的な容姿]

個人能力

1. 何か特別な能力を持つ [特別な能力]

2. 平均的に人並み以上の能力を持つ [平均的に優れる]
3. 能力は平凡 [平凡な能力]

知名度

1. 有名 (多くの人に知られている) [有名]
2. 一部で有名 (知る人ぞ知る) [一部で有名]
3. 無名 (知っている人はごく限られる) [無名]

なお、上では、属性という語を使っているが、コンジョイント分析の基盤となる実験計画法では、それは要因あるいは因子と呼ばれる。どれも同じものを指すが、本論文では、それぞれ文脈に応じて、使い分けている。また、属性の下位区分にあたる具体的な内容については、実験計画法(分散分析)では、水準と呼ばれるが、こちら、「属性の具体的内容」と「水準」という語を文脈に応じて使い分けていることに留意されたい。

2-2 設定されたキャラクター (人物像)

前述の L18 直交表にもとづき、次の 18 の人物像 (プロフィール) を作成した。

<p>人物像 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 職業は会社員 ● 経済的にはお金持ち ● リアルな友人に恵まれている ● 活発で賑やかな性格 ● 容姿は美形・ハンサム ● 何か特別な能力を持つ ● 有名 (多くの人に知られている) 	<p>人物像 2</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 自宅に籠る生活 ● 経済的にはお金持ち ● リアルな友人に恵まれている ● 穏やかで物静かな性格 ● 容姿は平凡 ● 能力は平凡 ● 無名 (知っている人はごく限られる)
<p>人物像 3</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 職業は芸術家 (作家やミュージシャンを含む) ● 経済的にはお金持ち ● ネット上の友人に恵まれている ● 活発で賑やかな性格 ● 容姿は個性的 ● 能力は平凡 ● 一部で有名 (知る人ぞ知る) 	<p>人物像 4</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 職業は実業家・経営者 ● 経済的にはお金持ち ● ネット上の友人に恵まれている ● 頑固で他人に左右されない性格 ● 容姿は美形・ハンサム ● 平均的に人並み以上の能力を持つ ● 無名 (知っている人はごく限られる)

人物像 5

- 職業はスポーツ選手・芸能人
- 経済的にはお金持ち
- 孤独を好む
- 穏やかで物静かな性格
- 容姿は個性的
- 平均的に人並み以上の能力を持つ
- 有名（多くの人に知られている）

人物像 6

- 職業は（自称）旅人
- 経済的にはお金持ち
- 孤独を好む
- 頑固で他人に左右されない性格
- 容姿は平凡
- 何か特別な能力を持つ
- 一部で有名（知る人ぞ知る）

人物像 7

- 職業は（自称）旅人
- 経済的には人並み
- リアルな友人に恵まれている
- 活発で賑やかな性格
- 容姿は個性的
- 平均的に人並み以上の能力を持つ
- 無名（知っている人はごく限られる）

人物像 8

- 職業はスポーツ選手・芸能人
- 経済的には人並み
- リアルな友人に恵まれている
- 頑固で他人に左右されない性格
- 容姿は美形・ハンサム
- 能力は平凡
- 一部で有名（知る人ぞ知る）

人物像 9

- 職業は会社員
- 経済的には人並み
- ネット上の友人に恵まれている
- 穏やかで物静かな性格
- 容姿は平凡
- 平均的に人並み以上の能力を持つ
- 一部で有名（知る人ぞ知る）

人物像 10

- 自宅に籠る生活
- 経済的には人並み
- ネット上の友人に恵まれている
- 頑固で他人に左右されない性格
- 容姿は個性的
- 何か特別な能力を持つ
- 有名（多くの人に知られている）

人物像 11

- 職業は実業家・経営者
- 経済的には人並み
- 孤独を好む
- 活発で賑やかな性格
- 容姿は平凡
- 能力は平凡
- 有名（多くの人に知られている）

人物像 12

- 職業は芸術家（作家やミュージシャンを含む）
- 経済的には人並み
- 孤独を好む
- 穏やかで物静かな性格
- 容姿は美形・ハンサム
- 何か特別な能力を持つ
- 無名（知っている人はごく限られる）

人物像 13

- 職業は実業家・経営者
- 経済的には貧しい
- リアルな友人に恵まれている
- 穏やかで物静かな性格
- 容姿は個性的
- 何か特別な能力を持つ
- 一部で有名（知る人ぞ知る）

人物像 14

- 職業は芸術家（作家やミュージシャンを含む）
- 経済的には貧しい
- リアルな友人に恵まれている
- 頑固で他人に左右されない性格
- 容姿は平凡
- 平均的に人並み以上の能力を持つ
- 有名（多くの人に知られている）

人物像 15

- 職業はスポーツ選手・芸能人
- 経済的には貧しい
- ネット上の友人に恵まれている
- 活発で賑やかな性格
- 容姿は平凡
- 何か特別な能力を持つ
- 無名 (知っている人はごく限られる)

人物像 16

- 職業は(自称)旅人
- 経済的には貧しい
- ネット上の友人に恵まれている
- 穏やかで物静かな性格
- 容姿は美形・ハンサム
- 能力は平凡
- 有名 (多くの人に知られている)

人物像 17

- 自宅に籠る生活
- 経済的には貧しい
- 孤独を好む
- 活発で賑やかな性格
- 容姿は美形・ハンサム
- 平均的に人並み以上の能力を持つ
- 一部で有名 (知る人ぞ知る)

人物像 18

- 職業は会社員
- 経済的には貧しい
- 孤独を好む
- 頑固で他人に左右されない性格
- 容姿は個性的
- 能力は平凡
- 無名 (知っている人はごく限られる)

本論文では、これらの18の人物像を提示し、それぞれ望ましいかどうかを尋ねる質問紙調査を行ったが、具体的には、同じ18の人物像に対して、それぞれ次のような3つの質問を行った。

- Q1. 「各々のキャラクター (人物像) に対して、自分だったら、どう思いますか? なりたいたいものに、すべてチェックしてください。」
- Q2. 「各々のキャラクター (人物像) に対して、自分の親だったら、どう思いますか? なってほしいものに、すべてチェックしてください。」
- Q3. 「各々のキャラクター (人物像) に対して、フィクションの主人公だったら、どう思いますか? おもしろそうな (興味を惹かれる) ものに、すべてチェックしてください。」

これらも、各々、「自分」、「自分の親」、「フィクション (物語) の主人公」という3つの水準を持つ因子型変数「対象人物」として、データに取り込んだ。

調査の概要

上記の質問紙調査は、大学生を対象に、2022年7月28日(木)~8月6日(土)に、Web ページから回答してもらった。有効回答数は143名であった。

3 調査結果

以下では、本論文で実施した質問紙調査の分析結果を示す。

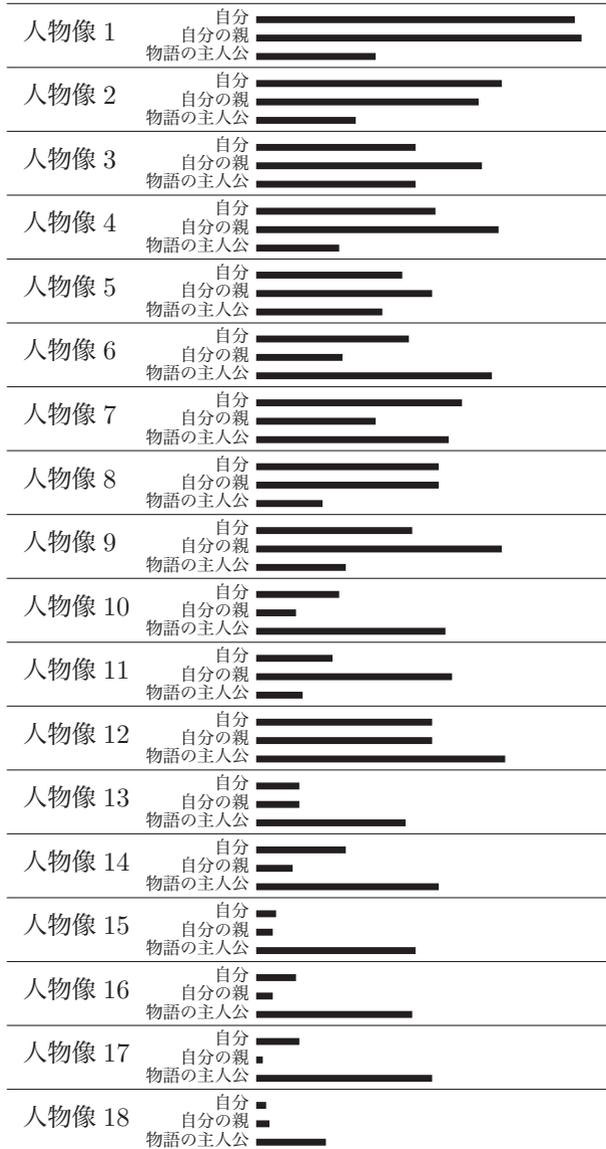
3-1 単純集計

ここでは、各人物像に対し、「自分だったら、なりたい」、「自分の親だったら、なってほしい」、「フィクション（物語）の主人公だったら、おもしろそうな（興味を惹かれる）」と回答した数を示す。表1では、各質問（対象の人物）毎に、回答数の多い順に人物像を並び替え、その実数と比率を示した。図1では、同じデータを棒グラフの形で図示した。

表1 人物像×対象とする人物（回答数と比率）

	自分		自分の親		物語の主人公
人物像 1	96 (67.13%)	人物像 1	98 (68.53%)	人物像 12	75 (52.45%)
人物像 2	74 (51.75%)	人物像 9	74 (51.75%)	人物像 6	71 (49.65%)
人物像 7	62 (43.36%)	人物像 4	73 (51.05%)	人物像 7	58 (40.56%)
人物像 8	55 (38.46%)	人物像 3	68 (47.55%)	人物像 10	57 (39.86%)
人物像 4	54 (37.76%)	人物像 2	67 (46.85%)	人物像 14	55 (38.46%)
人物像 12	53 (37.06%)	人物像 11	59 (41.26%)	人物像 17	53 (37.06%)
人物像 3	48 (33.57%)	人物像 8	55 (38.46%)	人物像 3	48 (33.57%)
人物像 9	47 (32.87%)	人物像 5	53 (37.06%)	人物像 15	48 (33.57%)
人物像 6	46 (32.17%)	人物像 12	53 (37.06%)	人物像 16	47 (32.87%)
人物像 5	44 (30.77%)	人物像 7	36 (25.17%)	人物像 13	45 (31.47%)
人物像 14	27 (18.88%)	人物像 6	26 (18.18%)	人物像 5	38 (26.57%)
人物像 10	25 (17.48%)	人物像 13	13 (9.09%)	人物像 1	36 (25.17%)
人物像 11	23 (16.08%)	人物像 10	12 (8.39%)	人物像 2	30 (20.98%)
人物像 13	13 (9.09%)	人物像 14	11 (7.69%)	人物像 9	27 (18.88%)
人物像 17	13 (9.09%)	人物像 15	5 (3.50%)	人物像 4	25 (17.48%)
人物像 16	12 (8.39%)	人物像 16	5 (3.50%)	人物像 18	21 (14.69%)
人物像 15	6 (4.20%)	人物像 18	4 (2.80%)	人物像 8	20 (13.99%)
人物像 18	3 (2.10%)	人物像 17	2 (1.40%)	人物像 11	14 (9.79%)
	N: 143		N: 143		N: 143

図1 人物像×対象とする人物（回答数の図示）



自分がなりたい人物像は、多い順に、「人物像 1」、「人物像 2」、「人物像 7」、自分の親になってほしい人物像は、「人物像 1」、「人物像 9」、「人物像 4」、物語の主人公に求める人物像は、「人物像 12」、「人物像 6」、「人物像 7」となっている。

「人物像 1」は、自分がなりたい人物像の 1 位であるとともに、自分の親になってほしい人物像の第 1 位である。また、「人物像 7」は、自分がなりたい人物像の上位に位置しているとともに、物語の主人公に求める人物像の上位にも位置している点が、注目される。

3-2 コンジョイント分析の概要

ここでは、本稿で用いたコンジョイント分析の概要を示す。

まず、18 の人物像（プロファイル）の構成要素（水準）を、それが属する属性の変数に割り当てた。さらに、「職業」、「経済状態」、「友人関係」、「性格」、「容姿」、「個人能力」、「知名度」の各変数と、「対象人物」変数を、交互作用として設定し、分析を行った。具体的には、次のモデル（下に R の formula で示す）を用いて、ロジスティック回帰分析を行うことにより、各説明変数の水準の係数などを算出した。

回答 ~ (職業 + 経済状態 + 友人関係 + 性格 + 容姿 + 個人能力 + 知名度) * 対象人物

なお、通常、コンジョイント分析では、説明変数として指定した因子型変数の各水準の係数は、合算すると 0 となる条件のもとで、推定される。その結果、因子型変数の複数の水準のうち 1 つの水準の係数は、それ以外の水準の係数の和に -1 を乗じたもの（あるいは、0 からそれ以外の水準の係数の和を減じたもの）として算出される。そのため、その 1 つの水準の係数の標準誤差は出力されないことになる。しかしながら、本論文では、各水準の割り当てを変更して再計算することにより、すべての水準の係数の標準誤差（および、信頼区間など）の情報を算出している。

3-3 コンジョイント分析結果

まず、最初に、前述のモデルで算出された分析結果の中から、交互作用項以外の項の係数、標準誤差、信頼区間などを示す。

表2に交互作用項ではない項の分析結果を示し、図2にその係数および信頼区間を図示する（なお、図中の横方向の直線の真ん中の●が係数の推定値を示し、横方向の直線の左端が95%信頼区間の下限を、右端がその上限を示す。）

これは、「自分」や「自分の親」、「フィクション（物語）の主人公」といった対象の人物を限定しない望ましい人物像を構成する属性ということになる。

ここで、対象の人物を限定しない場合の望ましい人物像の属性を見ておく。

まず、「職業」であるが、有意な値となっているものは「芸術家」のみであり、望ましいもの（正の値）となっている。「経済状態」では、「金持ち」と「人並みの経済力」が望ましいものとなっており、「貧しい」が大きく望ましくないものとなっている。「友人関係」では、「リアルな友人が多い」が望ましいものとなっており、「孤独を好む」が望ましくないとされている。「性格」面では、「穏やかで物静か」がわずかに望まれており、「頑固でぶれない」もわずかに望まれていないという結果である。「容姿」では、「美形な容姿」がわずかに望まれており、「個性的な容姿」はわずかに望まれていない。「個人能力」では、「特別な能力」と「平均的に優れる」がともにわずかに望まれており、「平凡な能力」については望まれていない。最後に、「知名度」については、どれも望ましい人物像には関与していない。

3-3-1 自分にとっての望ましい人物像

表3に自分にとっての望ましい人物像を構成する属性の分析結果を示し、また、図3にその係数および信頼区間を図示する。

ここでは、自分にとっての望ましい人物像を構成する属性を見ていくが、これは、前述の「(対象人物を限定しない) 望ましい人物像」を基準とした結果であることに留意する必要がある。

まず、「職業」に関しては、「(対象人物を限定しない) 望ましい人物像」と違いが出ているものがないことが分かる

次に、「経済状態」においては、「金持ち」が正の値となっている。対象人物を限定しない場合でも、「金持ち」に関しては正の値であったが、対象を「自分」とした場合は、さらに「金持ち」を望んでいるということになる。同様に「貧しい」も負の値となっており、対象人物を限定しない場合よりも、自分を対象とした場合

には、さらに「貧しい」ことを望んでいないということがわかる。

「友人関係」では、「リアルな友人が多い」の値が正となっており、対象人物を限定しない場合よりも、自分を対象とした場合の方が、より「リアルな友人が多い」ことが望ましいものとなっている。

「容姿」に関しては、「美形な容姿」が正の値、「個性的な容姿」が負の値となっており、対象人物を限定しない場合よりも、自分を対象とした場合の方がより「美形な容姿」を求め、「個性的な容姿」は求めていないことになる。

「個人能力」に関しては「平均的に優れる」が正の値となっており、自分を対象とした場合、平均的に優れた能力をより求めているという結果になった。

「性格面」および「知名度」の面では、対象人物を限定しない場合に比べて、特に違いはない。

3-3-2 自分の親に求める望ましい人物像

表4に自分の親に求める望ましい人物像を構成する属性の分析結果を示し、また、図4にその係数および信頼区間を図示した。

ここで、対象人物を限定しない場合と比べて、違いを示している水準があるのは、「職業」および「経済状態」と「個人能力」である。

それ以外の属性については、自分の親に求める望ましい人物像の内容に、特に違いがないという結果となった。

「職業」においては、「会社員」、「実業家」は正の値となっている一方で、「自宅に籠もる」、「旅人」は負の値となっている。「会社員」と「実業家」は対象人物を限定しない場合に比べ、「自分の親」に対しては、より強く求められるということが分かる。一方、「自宅に籠もる」、「旅人」は、対象人物を限定しない場合に比べて、より求められていないということが分かる。

「経済状態」に関しては、「金持ち」と「人並みの経済力」が正の値を示しており、「貧しい」が負の値を示している。これは対象人物を限定しない場合に比べて、「自分の親」を対象にした場合、「金持ち」および「人並みの経済力」がより求められており、「貧しい」は強く求められていないことが分かる。

また、興味深いのは「個人能力」である。ここでは、「特別な能力」が負となっ

ており、「平凡な能力」が正となっていることが注目される。これは、対象人物を限定しない場合に比べて、「特別な能力」をむしろ求めていないということであり、一方、「平凡な能力」の方が望ましいということを表している。

3-3-3 フィクション（物語）の主人公にとっての望ましい人物像

表5にフィクション（物語）の主人公にとっての望ましい人物像を構成する属性の分析結果を示し、図5にその係数および信頼区間を図示する。

ここで注目されるのは、「職業」、「経済状態」、「友人関係」、「容姿」、「個人能力」である。

「職業」に関しては、「会社員」や「実業家」が負の値となっている。これは、自分の親の場合と比べると、対照的な結果である。さらには、「自宅に籠る」と「旅人」が正の結果となっている。これは対象人物を限定しない場合と比べて、フィクションの主人公に対しては、「自宅に籠る」や「旅人」といった特性を求め、また、会社員や実業家といった内容は避けられているということになる。

「経済状態」においても、他の場合に比べて逆の傾向が表れている。「金持ち」と「人並みの経済力」においては負の値となっており。「貧しい」に対しては正の値となっている。これはフィクションの主人公に対しては、「貧しい」ことがより求められており、「金持ち」や「人並みの経済力」に関しては、むしろ求められていないということになる。

「容姿」では、「美形な容姿」が負の値となっており、「個性的な容姿」が正の値となっている。これはフィクションの主人公の場合には、美形な容姿は求められておらず、それよりむしろ個性的な容姿が求められているということになる。

「個人能力」に関しては、「特別な能力」が正の値、「平凡な能力」が負の値となっており、フィクションの主人公の場合には、特別な能力が求められ、平凡な能力は求められていないということがわかる。

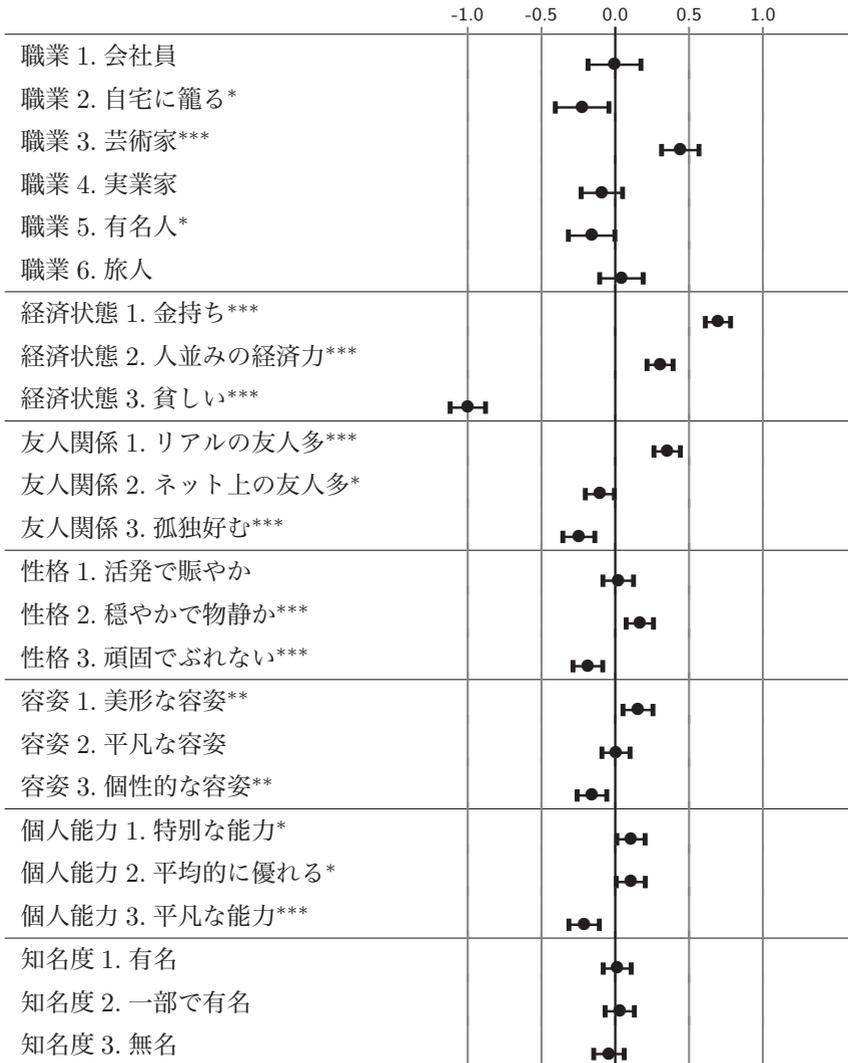
最後に、「性格」と「知名度」に関しては、フィクションの主人公においては、どれも望ましい人物像には関与していないという結果となった。

表2 (対象の人物を限定しない) 望ましい人物像の属性

	Estimate	S.E.	z value	P(> z)
職業 1. 会社員	-0.0056	0.0914	-0.0609	0.9514
職業 2. 自宅に籠る	-0.2249	0.0927	-2.4269	0.0152*
職業 3. 芸術家	0.4403	0.0646	6.8101	0.0000***
職業 4. 実業家	-0.0911	0.0716	-1.2718	0.2035
職業 5. 有名人	-0.1603	0.0803	-1.9957	0.0460*
職業 6. 旅人	0.0416	0.0752	0.5528	0.5804
経済状態 1. 金持ち	0.6959	0.0436	15.9729	0.0000***
経済状態 2. 人並みの経済力	0.3034	0.0451	6.7282	0.0000***
経済状態 3. 貧しい	-0.9993	0.0612	-16.3402	0.0000***
友人関係 1. リアルの友人多	0.3516	0.0457	7.6941	0.0000***
友人関係 2. ネット上の友人多	-0.1045	0.0503	-2.0783	0.0377*
友人関係 3. 孤独好む	-0.2471	0.0553	-4.4695	0.0000***
性格 1. 活発で賑やか	0.0199	0.0529	0.3751	0.7076
性格 2. 穏やかで物静か	0.1662	0.0472	3.5210	0.0004***
性格 3. 頑固でぶれない	-0.1860	0.0514	-3.6181	0.0003***
容姿 1. 美形な容姿	0.1536	0.0518	2.9663	0.0030**
容姿 2. 平凡な容姿	0.0046	0.0486	0.0947	0.9245
容姿 3. 個性的な容姿	-0.1582	0.0512	-3.0886	0.0020**
個人能力 1. 特別な能力	0.1062	0.0489	2.1724	0.0298*
個人能力 2. 平均的に優れる	0.1051	0.0501	2.0960	0.0361*
個人能力 3. 平凡な能力	-0.2112	0.0526	-4.0139	0.0001***
知名度 1. 有名	0.0128	0.0484	0.2650	0.7910
知名度 2. 一部で有名	0.0301	0.0506	0.5950	0.5518
知名度 3. 無名	-0.0429	0.0527	-0.8147	0.4152

(右端の *** は $p < 0.001$, ** は $p < 0.01$, * は $p < 0.05$ を表す。)

図2 (対象の人物を限定しない) 望ましい人物像の属性 (推定値と信頼区間)



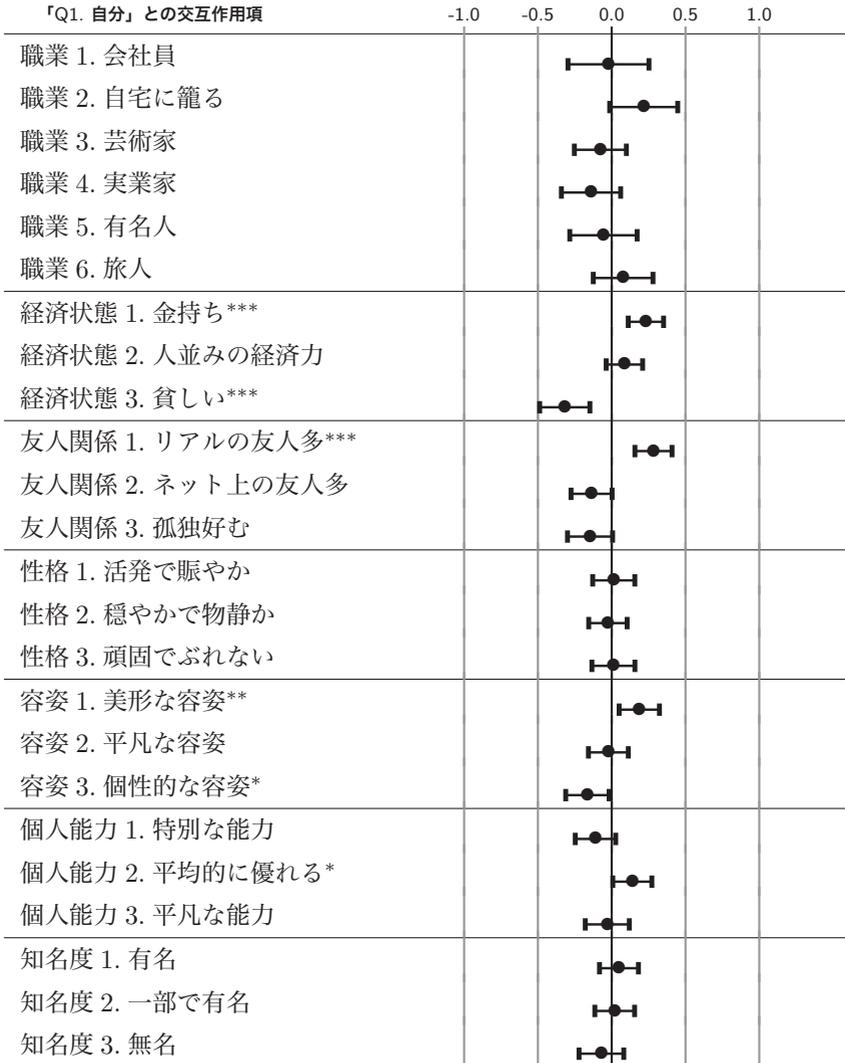
(項目名の後の *** は $p < 0.001$, ** は $p < 0.01$, * は $p < 0.05$ を表す。)

表3 自分にとっての望ましい人物像の属性

「Q1. 自分」との交互作用項	Estimate	S.E.	z value	P(> z)
職業 1. 会社員	-0.0219	0.1400	-0.1562	0.8759
職業 2. 自宅に籠る	0.2170	0.1176	1.8454	0.0650
職業 3. 芸術家	-0.0767	0.0899	-0.8527	0.3938
職業 4. 実業家	-0.1401	0.1024	-1.3676	0.1714
職業 5. 有名人	-0.0558	0.1164	-0.4798	0.6314
職業 6. 旅人	0.0775	0.1032	0.7504	0.4530
経済状態 1. 金持ち	0.2318	0.0611	3.7948	0.0001***
経済状態 2. 人並みの経済力	0.0861	0.0630	1.3652	0.1722
経済状態 3. 貧しい	-0.3179	0.0868	-3.6627	0.0002***
友人関係 1. リアルの友人多	0.2831	0.0641	4.4134	0.0000***
友人関係 2. ネット上の友人多	-0.1364	0.0710	-1.9212	0.0547
友人関係 3. 孤独好む	-0.1467	0.0780	-1.8807	0.0600
性格 1. 活発で賑やか	0.0140	0.0728	0.1918	0.8479
性格 2. 穏やかで物静か	-0.0255	0.0664	-0.3841	0.7009
性格 3. 頑固でぶれない	0.0115	0.0743	0.1552	0.8767
容姿 1. 美形な容姿	0.1870	0.0697	2.6830	0.0073**
容姿 2. 平凡な容姿	-0.0224	0.0689	-0.3252	0.7451
容姿 3. 個性的な容姿	-0.1646	0.0751	-2.1931	0.0283*
個人能力 1. 特別な能力	-0.1099	0.0699	-1.5725	0.1158
個人能力 2. 平均的に優れる	0.1398	0.0675	2.0711	0.0384*
個人能力 3. 平凡な能力	-0.0298	0.0761	-0.3920	0.6950
知名度 1. 有名	0.0493	0.0673	0.7329	0.4636
知名度 2. 一部で有名	0.0205	0.0687	0.2978	0.7659
知名度 3. 無名	-0.0698	0.0773	-0.9026	0.3667

(右端の *** は $p < 0.001$, ** は $p < 0.01$, * は $p < 0.05$ を表す。)

図3 自分にとっての望ましい人物像の属性（推定値と信頼区間）



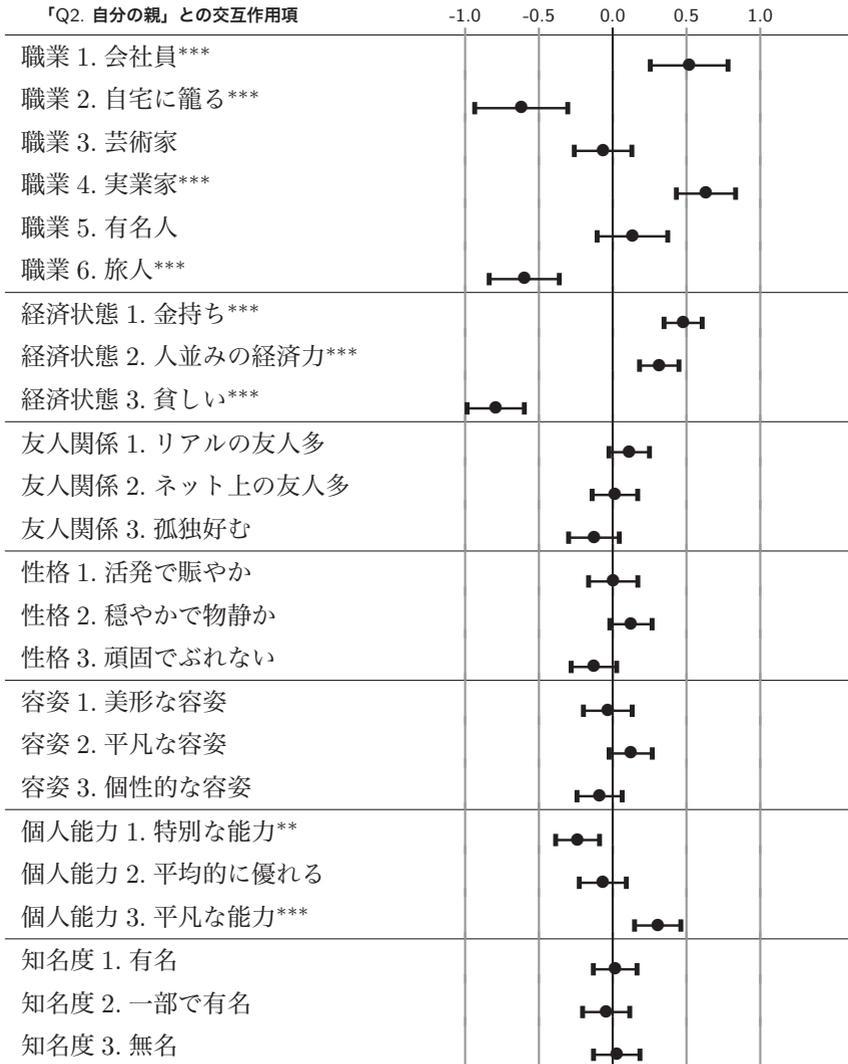
(項目名の後の *** は $p < 0.001$, ** は $p < 0.01$, * は $p < 0.05$ を表す。)

表4 自分の親に求める望ましい人物像の属性

「Q2. 自分の親」との交互作用項	Estimate	S.E.	z value	P(> z)
職業 1. 会社員	0.5182	0.1344	3.8569	0.0001***
職業 2. 自宅に籠る	-0.6198	0.1609	-3.8526	0.0001***
職業 3. 芸術家	-0.0651	0.0995	-0.6548	0.5126
職業 4. 実業家	0.6324	0.1023	6.1795	0.0000***
職業 5. 有名人	0.1338	0.1220	1.0963	0.2729
職業 6. 旅人	-0.5994	0.1212	-4.9437	0.0000***
経済状態 1. 金持ち	0.4772	0.0659	7.2376	0.0000***
経済状態 2. 人並みの経済力	0.3155	0.0681	4.6317	0.0000***
経済状態 3. 貧しい	-0.7926	0.0990	-8.0098	0.0000***
友人関係 1. リアルの友人多	0.1119	0.0700	1.5996	0.1097
友人関係 2. ネット上の友人多	0.0151	0.0787	0.1914	0.8482
友人関係 3. 孤独好む	-0.1270	0.0877	-1.4489	0.1474
性格 1. 活発で賑やか	0.0035	0.0851	0.0407	0.9676
性格 2. 穏やかで物静か	0.1239	0.0731	1.6953	0.0900
性格 3. 頑固でぶれない	-0.1273	0.0787	-1.6175	0.1058
容姿 1. 美形な容姿	-0.0331	0.0843	-0.3930	0.6944
容姿 2. 平凡な容姿	0.1220	0.0746	1.6345	0.1022
容姿 3. 個性的な容姿	-0.0888	0.0781	-1.1370	0.2555
個人能力 1. 特別な能力	-0.2379	0.0759	-3.1350	0.0017**
個人能力 2. 平均的に優れる	-0.0670	0.0813	-0.8246	0.4096
個人能力 3. 平凡な能力	0.3050	0.0800	3.8096	0.0001***
知名度 1. 有名	0.0169	0.0755	0.2234	0.8233
知名度 2. 一部で有名	-0.0442	0.0815	-0.5425	0.5875
知名度 3. 無名	0.0274	0.0802	0.3409	0.7332

(右端の *** は $p < 0.001$, ** は $p < 0.01$, * は $p < 0.05$ を表す。)

図4 自分の親に求める望ましい人物像の属性(推定値と信頼区間)



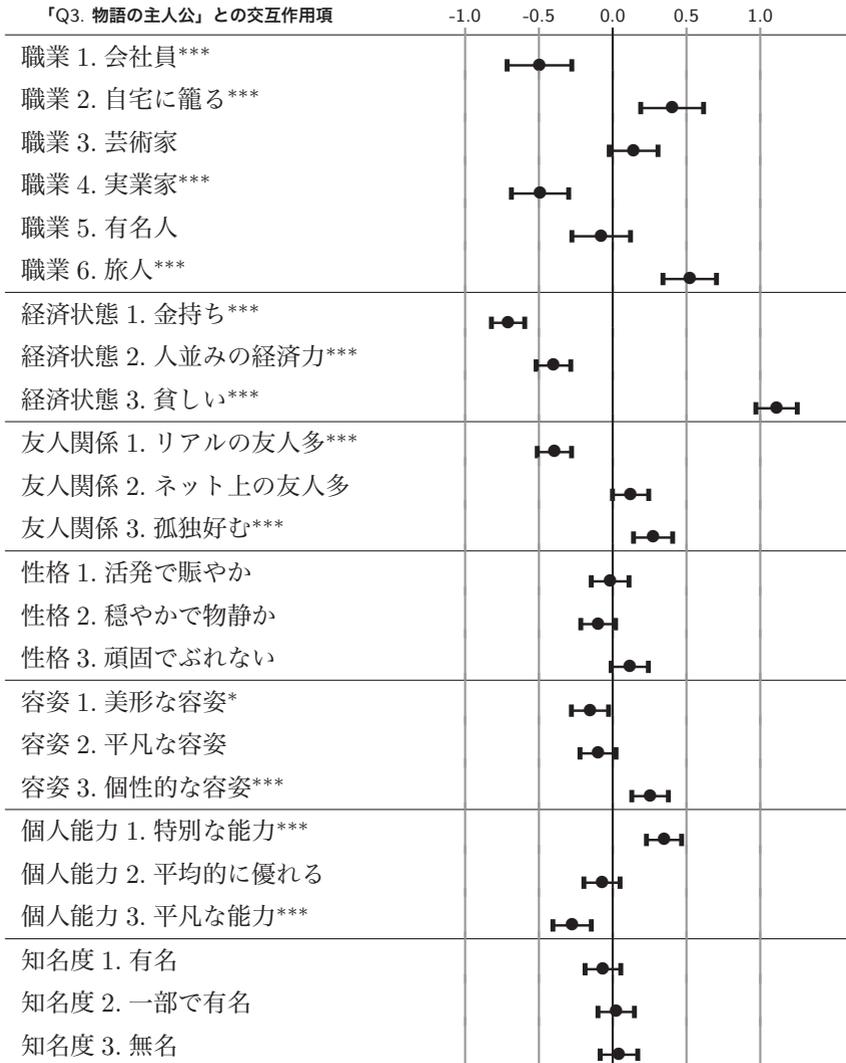
(項目名の後の *** は $p < 0.001$, ** は $p < 0.01$, * は $p < 0.05$ を表す。)

表5 フィクション（物語）の主人公にとっての望ましい人物像の属性

「Q3. 物語の主人公」との交互作用項	Estimate	S.E.	z value	P(> z)
職業 1. 会社員	-0.4963	0.1118	-4.4389	0.0000***
職業 2. 自宅に籠る	0.4028	0.1087	3.7065	0.0002***
職業 3. 芸術家	0.1418	0.0843	1.6829	0.0924
職業 4. 実業家	-0.4923	0.0990	-4.9717	0.0000***
職業 5. 有名人	-0.0779	0.1013	-0.7690	0.4419
職業 6. 旅人	0.5219	0.0926	5.6391	0.0000***
経済状態 1. 金持ち	-0.7090	0.0575	-12.3245	0.0000***
経済状態 2. 人並みの経済力	-0.4015	0.0599	-6.7038	0.0000***
経済状態 3. 貧しい	1.1105	0.0715	15.5295	0.0000***
友人関係 1. リアルの友人多	-0.3950	0.0593	-6.6620	0.0000***
友人関係 2. ネット上の友人多	0.1214	0.0626	1.9377	0.0527
友人関係 3. 孤独好む	0.2737	0.0676	4.0475	0.0001***
性格 1. 活発で賑やか	-0.0174	0.0653	-0.2670	0.7894
性格 2. 穏やかで物静か	-0.0984	0.0601	-1.6355	0.1019
性格 3. 頑固でぶれない	0.1158	0.0643	1.8005	0.0718
容姿 1. 美形な容姿	-0.1539	0.0642	-2.3958	0.0166*
容姿 2. 平凡な容姿	-0.0996	0.0623	-1.5985	0.1099
容姿 3. 個性的な容姿	0.2534	0.0633	4.0039	0.0001***
個人能力 1. 特別な能力	0.3478	0.0607	5.7290	0.0000***
個人能力 2. 平均的に優れる	-0.0727	0.0625	-1.1631	0.2448
個人能力 3. 平凡な能力	-0.2751	0.0664	-4.1409	0.0000***
知名度 1. 有名	-0.0662	0.0617	-1.0721	0.2837
知名度 2. 一部で有名	0.0237	0.0631	0.3765	0.7066
知名度 3. 無名	0.0425	0.0650	0.6534	0.5135

(右端の *** は $p < 0.001$, ** は $p < 0.01$, * は $p < 0.05$ を表す。)

図5 フィクション（物語）の主人公にとっての望ましい人物像の属性（推定値と信頼区間）



(項目名の後の *** は $p < 0.001$, ** は $p < 0.01$, * は $p < 0.05$ を表す。)

4 考察

このような分析結果は、2019年論文の結果と整合的である。

最も現実的な傾向を示したのが、自分の親に対してである。ここでは、「会社員」や「実業家」といった職業が求められ、経済的にも「金持ち」（「人並みの経済力」以上のもの）が求められる。また、「特別な能力」は求められず、むしろ「平凡な能力」が求められている。

それに対して、最も非現実的であるのは、当然ながら、フィクションの主人公に対してである。通常は求められない「自宅に籠る」や「旅人」が求められ、「会社員」や「実業家」が求められていない。また、経済状態も、「金持ち」や「人並みの経済力」が求められず、「貧しい」がむしろ求められている。また、個人能力に関しても、「特別な能力」が求められ、「平凡な能力」が求められていない。

ここで、自分を対象とした場合を考えてみる。自分を対象とした場合、職業では、対象人物を限定しない場合と違いがない。これは、保守的である自分の親と、非現実的であるフィクションの主人公の中間に、自分の望ましい人物像が位置づけられているということになる。ただし、経済状態において「金持ち」を望むという点は、現実的な自分を対象とした場合に近い結果となっていることに留意すべきであろう。

このような分析結果が、2019年論文に続いて確認されたということは、ある程度の一般性を持つことが期待される。

参考文献

- Agresti, A., 2002, *Categorical data analysis*, 2nd edition, Wiley.
- Bak A. and Bartlomowicz T., 2012, “Conjoint analysis method and its implementation in conjoint R package”, Pocięcha J. and Decker R. Eds., *Data analysis methods and its applications*, C.H. Beck, 239-248
- Fiske, J., 1987, *Television culture*, Routledge. (= 1996 『テレビジョンカルチャー：ポピュラー文化の政治学』 粹出版社.)

- Grömping, Ulrike, 2018, “R Package DoE.base for Factorial Experiments”,
Journal of Statistical Software, 85(5), 1 – 41.
(<https://doi.org/10.18637/jss.v085.i05>)
- R Core Team, 2019, “R: A language and environment for statistical computing”, R Foundation for Statistical Computing, Vienna, Austria.
(<https://www.R-project.org/>)
- Yee, Thomas W., 2019, “VGAM: Vector Generalized Linear and Additive Models”, R package version 1.1-1.
(<https://CRAN.R-project.org/package=VGAM>)
- 東浩紀, 2001, 『動物化するポストモダン：オタクから見た日本社会』, 講談社.
- 大塚英志, 2013, 『キャラクター小説の作り方』, 星海社 (発売 講談社) .
- , 2014, 『キャラクターメーカー：6つの理論とワークショップで学ぶ作り方』, 星海社 (発売 講談社) .
- 古賀豊, 2019, 「『理想的な人物像』をめぐる試論: フィクションのキャラクターと現実の自己像」, 『人文科学研究』, 145, Y17-Y37.